

我孫子オーディオファンクラブとの交流合宿

日 時：平成20年11月3～4日

場 所：白馬：ペンション「シャモニール白馬」

出席者：我孫子オーディオファンクラブ：佐藤会長、山本副会長、赤田氏、岩立氏、高橋氏、後藤氏、越川氏、藤井氏、三田氏、脇田氏、  
京都オーディオ倶楽部：大塚（記）

## 1. 合宿に至った経緯

平成20年6月14日に我孫子オーディオファンクラブを初訪問した際、佐藤会長より「11月に毎年合宿を行っており合流しましょう」とのありがたい申し出があった。

合宿の希望者を募ったが、今年は会員の慶事が立て続けにあったことから、京都オーディオ倶楽部の参加者は大塚だけという嬉しいやら悲しいやら・・・そんな思いで参加した。

## 2. 白馬の印象

鉄道を利用して14：06に白馬駅に到着した。初上陸の私にとって白馬といえば日本でも屈指のリゾートというイメージがあった。しかし、実際は閑散とした寂しい町並みであった。



閑散とした白馬駅前

シーズンが異なるがスキー人口の激減による影響が大であると感じた。実際に日本人よりもオーストラリアやニュージーランドからのスキー客のほうが多いようで、ホテルやペンション、飲食店、さらには街角でも外国人客が目につくらしい。（関係者の話で私自身は未確認）

14：15 ペンション「シャモニール白馬」オーナーの新田氏が迎えに来てくれる。

14：20 我孫子オーディオファンクラブの面々に再会する。

14：30 ペンション「シャモニール白馬」に到着する。

### 3. ペンション「シャモニール白馬」

ペンション「シャモニール白馬」は北アルプスの麓に位置する、大変景色のよい場所にある。



シャモニール白馬



シャモニール白馬入口



シャモニール白馬前から北アルプスを望む

ペンション「シャモニール白馬」はオーディオを主体としたペンションとして多数のオーディオ雑誌に取り上げられているが、スタジオ設備や楽器が完備されており、オーディオよりも専ら学生バンドやアマチュアバンドが合宿として使用しているペンションである。

オーナーの新田氏もドラムを叩く演奏家の一人である。昨年、氏が還暦を迎えた際のコンサートビデオを見せて貰ったが、なかなかの腕前であった。

ちなみに「シャモニール白馬」の連絡先は以下の通り。

〒399-3901 長野県北安曇郡白馬村落倉高原 ペンション シャモニール白馬  
TEL 0261-72-5711 FAX 0261-72-6859  
E-mail:p-tamtam@siren.ocn.ne.jp

#### 4. システム (その他もろもろ・・・)

ペンション内は3箇所 (私が確認した限り) のリスニングルームがあり、到着後しばらくは食堂横のリスニングルームで軽快なJ A Z Zの演奏に耳を傾けた。



食堂横のリスニングルーム  
J B Lのホーンスピーカー



スタジオ設備 (現在、調整中とのこと)

圧巻はやはりメインルームにあるウェスタンの巨大ホーンスピーカーである。スピーカーに貼り付けられた布はオリジナルでこれに価値があるとのこと。



システム全景



ホーンスピーカー

アンプはオーディオテクネ製。足場はカーボン製のインシュレーターを使用。



アンプ全景



プリアンプ

ノイマンのカッティングマシンをターンテーブルとして使用している。重量が大きいため地面にコンクリートを打ち、そのから設置しているとのこと。

CDプレーヤーはワディア製、以前はスチューダー製を用いていたが、頻繁に壊れるため交換したとのこと。



プレーヤー全景



カッティングマシーン

オーナーの新田氏より地下のリスニングルームに案内してもらったが、そこで驚いたのが中学校時代に読んでいたマンガ「きまぐれオレンジロード」の鮎川まどかと檜山ひかると春日くるみ（髪の色が異なるが髪型から判断）の絵であった。

何でも原作者のまつもと泉氏と新田氏は昔からの知己で、新田氏のご息のために書いた絵とのことであった。何ともうらやましい限りである。



鮎川まどかの絵



檜山ひかると春日くるみの絵



地下のリスニングルーム

## 5.1 1日目の内容

主にメインルームでオーディオ談義を行った。

夕食までの間、参加者の一人である高橋氏が、指揮者の佐渡裕氏と、レナード・バーンスタインに関する著作を出版したとのことで、その内容についていろいろ質問を投げた。



LPジャケット美術館  
クラシック名盤100選



バーンスタイン名盤100選  
LPジャケット美術館2

高橋氏は元商社マンで海外勤務時代に収集したレコードは60,000枚を超える我が国でも屈指のコレクターである。ジャンルはクラシック、ジャズ、ロック、ラテン、邦楽など幅広く、本の内容からも非常に深い知識の持ち主であることが理解できる。

CEC社のホームページに高橋氏の「心に残るディスク100選」というコラムがあるので参照されたい。

[http://www.cec-web.co.jp/column/disc100/disc100\\_index.html#takahashi](http://www.cec-web.co.jp/column/disc100/disc100_index.html#takahashi)

帰りに名古屋駅前で高橋氏の著書を購入したので、来年にお会いできたらサインを頂こうと考えている。(かなりミーハーです・・・)

19:00から食堂で夕食、は宿泊費を考慮するとかなり豪華なものであった。



夕食時の記念撮影

夕食後は再びメインルームでDVDを鑑賞した。ソニー製の3管プロジェクターを用いたシステムである。ソフトの内容は「フラメンコ」と「ヘルベルト・フォン・カラヤンの回想録」であった。



D V D 鑑 賞 中

D V D 鑑 賞 後 は S H M - C D サンプラーの聞き比べを行った。

S H M - C D は Super High Material CD の略で、通常のC D と別種のポリカーボネート樹脂を使用することにより透明性を上げた高音質C D とのこと。通常のC D と一対になっているので本当に高音質なのか比較を行った。



1. オルフ：《カルミナ・ブラーナ》～おお、運命の女神よ
2. ベートーヴェン：交響曲 第7番 イ長調 作品92～第4楽章
3. R.シュトラウス：交響詩《ティル・オイレンシュピーゲルの愉快な悪戯》作品28
4. ヨハン・シュトラウス 世：ラデツキー行進曲 作品288
5. ワーグナー：ヴァルキューレの騎行
6. サン=サーンス：交響曲 第3番八短調 作品78《オルガン》～第2楽章：第2部
7. モーツァルト：レクイエム 二短調 K.626～ラクリモーザ
8. J.S.バッハ：《マタイ受難曲》BWV.244～
9. リスト：ピアノ協奏曲 第1番 変ホ長調 S124～第1楽章
10. シューベルト：ピアノ五重奏曲 イ長調 D667《ます》～第4楽章
11. マーラー：交響曲 第5番 嬰八短調～第4楽章

最初のオルフのカルミナ・ブラーナは通常のC D と区別が付きにくかったが、ベートーヴェンの交響曲第7番やモーツァルトのレクイエムではS H M - C D に軍配が上がった。

結論としては全てが良くなるという訳ではないが、大半が良くなる傾向になるということであった。

その後、午前1時までオーナーの新田氏を交えてオーディオ談義に花を咲かせた。

## 6. オーナーの新田氏について

通常、オーディオペンションを営んでいる人物は偏屈な人間と思いきみがちであるが新田氏はさにあらず、非常に気さくな好人物であった。遊び心のもったチョイ悪親父といった感じ（何も悪いところはないが・・・）である。ちなみに私の親父と同一年である。

道楽に対する情熱はすさまじいものがある。オーディオの他には戦闘機と模型が好きでありコレクションを見せてもらった。私は旅客機と戦艦が好きであるが大の模型好きという共通項があったため話は非常に弾んだ。

圧巻だったのがロータススーパーセブンを所有していることであった。丁度、マフラー交換の修理から戻ってきたとのことで運転席に座らしていただいた。ちなみに畏れ多いので運転はしていない。岡サーファーを彷彿とさせるヘタレでスマソ・・・



オーナーの新田氏と大塚



ロータススーパーセブン

## 7. 2日目の内容

朝からメインルームにて各自が好きなCDを持ち寄り音楽鑑賞と音楽談義に花を咲かせた。

11:00 昼食のため移動する。

11:20 白馬駅から徒歩5分程度の場所にある「そば神」で昼食。



そば神 その1



そば神 その2

「そば神」はインターネットの口コミでも多く紹介されている職人氣質な店である。私はざるそばを大盛りにして注文したが美味であった。次回は天プラそばを注文したい。（隣で越川氏が食していたのを見てすごく美味しそうにだったため・・・）

12:00 国道148号線の松川にかかる橋でしばし散策



松川にかかる橋の上から撮影

白馬岳、杓子岳、鑓ヶ岳を「白馬三山」という。

12:30 「シャモニール白馬」に戻り、再びメインルームにて音楽鑑賞。

14:00 帰路につく。



最後に参加者全員で記念撮影

3列目 佐藤氏、山本氏、高橋氏、岩立氏

2列目 後藤氏、赤田氏

1列目 大塚、三田氏、脇田氏、藤井氏、越川氏

## 8 . メールでのやりとり

合宿終了後、我孫子オーディオファンクラブの会員各位とメールのやりとりを行った。  
参加した皆さんがどのくらい楽しんだか素直に伝わるので内容をそのまま転写する。

### 1 ) 佐藤会長より

咳が止まらず皆様にご不快をお掛けして申し訳ありませんでした。

爽快な空気のお陰で少し快方に向かいました。それにしても楽しい2日間でした。

京都から大塚さんの初参加を得て、来年はもっと沢山の皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

写真はメール、CD-Rなどで送っていただければ纏めてCD-Rに焼きます。

有難うございました。

### 2 ) 山本副会長より

2日間、お疲れ様でした。

帰りのバスの遅延には参りました。(10時新宿着 約2時間送れ)

旅行自体は好天に恵まれ、最高の景色の中、久しぶりに新田オーナー節も聞け、共通の趣味を通して語らう事が出来て楽しかったと思います。(幹事自讃)

京都の大塚さんの参加も頂き盛り上がりました。

幹事として来年は、少なくとも帰りのバスについては取りやめ、白馬 長野(バスで)上野(長野新幹線)を考慮したいと思います。

若干、交通費(最高5千円)はアップしますので、貯金しておいてください。

有難うございました。

### 3 ) 赤田氏より

ご参加の皆さんお疲れ様でした。

今年は例年にもまし2日にわたり好天に恵まれ、青空、冠雪した山並み、紅葉の秋景色とオーディオ・音楽談義で愉楽の2日でした。(唯一の問題は帰路のバス大遅延でしたが)

有難うございました。

### 4 ) 越川氏より

好天に恵まれ白馬も紅葉もシャモニールも最高の秋日和で楽しい有意義な時を過ごさせていただきました。

早速それぞれの皆さん等の写真をまとめて送りますので宜しくお願いします。

後日、佐藤会長さんには一通り撮った写真をCDに入れて送ります。

幹事役の山本副会長さんご苦労様でした。

また、皆さんとパラゴン会をやしましょう。

5) 後藤氏より

お疲れ様でした。

初めての参加でしたが、好天に恵まれ楽しい2日間を過ごすことができました。

私は自称晴れ男でしたが、今回の2日間の天気は私の神通力をはるかに超えたものでした。諸兄、諸姉の日頃の行いの結果だと思っております。

シャモニールのオーディオルームも想像以上の音質で楽しませてもらいました。

お世話になりました。ありがとうございました。

6) 高橋氏より

皆々様

昨夜 長野より帰宅いたしました。

同好の士とともにオーディオ・音楽談義やら心地よいウエスタン・サウンドに存分に浸ることができた至福の二日間でした。

好天にも恵まれ、アルプスの雪景色やら紅葉とともに山の温泉やら信州新そばも大いに楽しませて頂きました。

有り難うございました。

7) 藤井氏より

皆様 大変お世話になりました。晴れ男の皆様ののおかげで

天候にも恵まれたこと感謝です。実は私 雨・風・雷・暴動・墜落・雪女なのです。

今後とも どうぞよろしく願います。

8) 脇田氏より

大塚様

好天に恵まれた2日間でした。ウエスタンの音は如何でしたか。遅くまで、最後までお話していた脇田です。快男子新田ワールドの情熱とあの悠然と鳴るホーンに魅せられてもう10回近く白馬を訪ねています。又お会いしましょう。

9) 大塚より我孫子オーディオファンクラブ会員各位へ

この度は参加させて頂きありがとうございます。

大変、有意義な時間を過ごせました。趣味を通じた触れ合い、語らいというのは素晴らしいものだ改めて実感しました。

私の持論は「音楽好きに悪い奴はいない」であります。持論は正しいことが実証されました！

関東出張の折りにまたクラブ見学をさせて下さい。京都においでの際は是非声をかけて下さい。灯台元暗しを地でいきますが、できる限りのことはいたします。

では、またお会いしましょう。失礼します。

## 9.まとめ

素晴らしい天候に恵まれ、また、我孫子オーディオファンクラブの方々とも親睦を深めることができ、非常に楽しい2日間であった。

若輩者の私が述べるのはおこがましいことであるが、我孫子オーディオファンクラブの会員は音楽以外にも文学や絵画に精通した深い知性を身につけた教養人が多く在席している。

その多くの教養人との語らいから、オーディオにとって大切なものというのはオーディオ以外、特に教養にあるのだなということを再認識した。私も教養のある人間を目指してこれから奮励努力するつもりである。

このような集いに誘っていただき、我孫子オーディオファンクラブの会員各位に深く感謝する次第である。

来年も開催するとのことで、是非参加したいと思うと共に、京都オーディオ倶楽部の会員にも参加していただきたい。

以上